

# 園長だより「笑顔」

第1号



令和2年 4月 8日  
北区立ふくろ幼稚園  
園長 篠澤 恵理

幼稚園の畑では、昨年度末に植えたジャガイモが元気に芽を出し、10cmほどになりました。今の時期に、2～3本に芽かきをして追肥をすると、一つ一つの芋が大きく成長します。暖かい日が続くと、一気に大きく成長しますので、タイミングを逃すこともしばしばあります。今年は、大変残念な臨時休業のスタートではありましたが、「子どもたちに、大きなジャガイモを食べさせてあげたい!」と、強く願いながら、令和2年度に予定していた始業式当日に、このジャガイモの芽かきをしました。幼稚園の花壇の様子は、ホームページに掲載しますので、見てくださいね。離れていても、同じ物を見つめながら、気持ちがつながっていかれますように願っています。子どもたちの声がしない幼稚園は、とても寂しく、子どもたちと過ごすことのできる毎日が幸せなことだと、改めて感じています。

令和2年度は、園だよりの他に、園長だより「笑顔」を発行して、園長のつぶやきや、自分の子育てを振り返って今感じていることなど、ふくろ幼稚園の皆さんが、「笑顔」になるような話題をお伝えしたいと考えています。

さて、先日、私はNHKの連続テレビ小説「エール」を見たときに、後に作曲家になる主人公の恩師が、主人公の得意なことに気付いてほしいと願って話した言葉が心に残っていますので、ご紹介します。後に作曲家になる主人公が、なかなか自分の好きなことに気付かずにいる場面です。

「(人との) 違いを気にするな。そのうち見付かるさ。」

「人よりほんの少し、努力するのが辛くなくて、ほんの少し簡単にできること、それがおまえの得意なもんだ。それが見付かれればしがみつけ。必ず道は拓く。」

自分のできないことを嘆いているときは、人と自分の違いを比べて考えがちですが、「自分はこうしたい。」とか、「こうしてみたらどうか。」など、小さな思いの段階で、後押ししてもらえると、その気になって、やってみようと思えるのだと思います。

また、「できた」と感じるがあったときに、そばで自分のことをしっかりと見てくれていたと分かると、「本当にできたな」と実感して嬉しくなります。「そのうち」と言ってもらえたことも、自分のペースを守れたことだろうと思いました。人と比べて、人よりもできることを「得意なこと」と捉えがちですが、ほんの少し簡単にできたと思えることをたくさん見つけられる毎日になるといいなと思います。

ふくろ幼稚園では、同年齢の友達と一緒に園生活を過ごす中で、自分の思いを表したり、人の考えを受け入れたりする多様な体験を積むことにより、人との関わり方や、自分で考え行動する力、やがては「生きる力」を学ぶことにつながる教育内容を計画しています。子どもたちの思いに寄り添いながら、今考えていることや、しようとしていることを支えていくことで、生きる力の基礎となる『心情・意欲・態度』を育成していられるよう、教職員一同、全力で教育をしてまいります。

お子様が、安心して自分の力を発揮し、心豊かで充実した毎日を過ごすことができますよう、ご家庭と幼稚園が共に手を携えていきましょう。